

回答いただいた団体名

- ・大津市障害児者と支える人の会 ・視覚障害者協会
- ・滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部 ・バクバクの会～人工呼吸器と共に生きる
- ・大津市ろうあ者福祉協会

1「避難行動要支援者名簿」について

「避難行動要支援者名簿」(従来の「災害時要援護者名簿」を含む)の目的、内容や役割などについて、これまで貴団体会員に周知を図る等の活動を行っていただければ活動内容を教えてください。

- 支える人の会: 防災に関する学習会を会報を通じて案内する。
- 視覚障害者協会: 現在行っていない今後検討の予定
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部: ・滋賀県中途失聴難聴者協会の事務局にて、協会員のメールアドレスと、FaxNo をまとめています。
・緊急時には安否確認メールを出します。訓練として何回か交信して会員には周知済みです。
- バクバクの会: 「人工呼吸器使用者のための防災ハンドブック」の作成、発行。
- 大津市ろうあ者福祉協会: ・学習会の開催により、周知する。
・会員対象の安否情報訓練を年に1回、実施している。

2 避難場所に関する情報について

障害のある人に対して、災害時の避難場所(災害が発生したときに一時的に避難する場所で、公園や広場、学校などの場合が多い)を知っていただくためには、どのような方法が効果的だと思いますか。<効果的な手段や行事の開催などについて、記入して下さい。>

- 支える人の会: 地域自治会での方法や訓練
- 視覚障害者協会: 各自で各地域の自治体、民生委員にお願いしている
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部: ・近隣の公園や学校が望ましいと考えます。地域によっては、近くの学校で防災訓練などが行われています。地域の町内会など避難場所を知らせることが大切だと思います。
- バクバクの会: ・会員には、防災ハンドブックや会報誌で、避難場所等も含めた災害時の対応や防災に関する知識の発信を定期的に行っている。
・他、地域の防災訓練等の情報を知らせる(参加する、しないに関わらず)
- 大津市ろうあ者福祉協会: ・分かりやすい案内板を立てる。
・避難所マップを配布し、ホームページに載せる。
・地域に、障害のことを正しく啓発してもらう。
・情報障害をなくすための合理的配慮を示すマップの配布
・避難所受付所の担当者も簡単でいいから手話を覚えてほしい。

3 災害など緊急時の情報の確保について

県や市町が、障害のある人に対して災害に関する情報や避難情報を提供する場合、どのような方法が効果的だと思いますか。<FAX や字幕放送などの情報伝達手段、表現方法、身近な地域からの情報入手方法などについて記入してください。>

- 支える人の会：テレビ、ラジオ、スマホ
- 視覚障害者協会：該当する地域の自治体、自治会より直接伝達
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：中途失聴難聴者は、文字での情報が一番ありがたいです。先日の 20 号、21 号台風時は、緊急避難情報として、スマホに拡大音と共に地域による避難情報が流れました。また、テレビの文字情報もありがたいです。
- バクバクの会：・メール配信・学校や施設等での、当事者向けの防災教育
- 大津市ろうあ者福祉協会：・テレビ放送には、手話と字幕を表示できるようにしてもらいたい。
 - ・食料や飲み物などの場合もあらゆる手段(FAX、メール、文字表示ができる掲示板など)を駆使して提供する。
 - ・停電などが起こっても情報提供できるシステムを構築し、誰でもいつでもどこでももらえるようにしておく。
 - ・携帯充電できる非常バッテリーの設置。移動のためのガソリンの提供。
 - ・筆談用具や筆談ボードの提供。
 - ・聴覚障害者向けのバンダナの提供。

4 避難の支援方法について

障害のある人など、1 人では避難が困難な人の避難を避難支援等関係者が支援する場合、どのような配慮が必要だと思いますか。

- 支える人の会：避難の時期を知らせる
- 視覚障害者協会：視覚に障害があるので情報伝達は音声でお願いします
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：日頃から近隣のつながりを大切にすることが望まれます。即支援してもらえるのは近くに住む知り合いだと思います。また、民生委員さんなどにも、一人暮らしで避難が難しい方には、状況を把握してもらうことも大切だと思います。
- バクバクの会：・寝たきりの人等への介助の仕方、担架等の用意
 - ・手動人工呼吸器の操作
 - ・必要な医療機器(人工呼吸器、加温加湿器、モニター、吸引器、酸素ボンベ等)
 - ・物品等を運び出す人員
- 大津市ろうあ者福祉協会：・地域の共助が不可欠。町内会などの理解や協力も不可欠。
 - ・安否確認がとれない対象者をリストにして早期訪問を実施する。

5 避難所について

①障害のある人が一般の避難所で安心して過ごすためには、どのような配慮が必要だと思いますか。

- 支える人の会：障がい特性に合った配慮
- 視覚障害者協会：移動が困難なのでトイレに近いところで、情報伝達案内は音声でお願いしたい
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：・自分の障害程度を知ってもらうことが大切と考えます。

- ・きこえの障害がある人たちには、文字情報が大切です。
- ・白板など文字で周知できる対策を考えてほしいと思います。

バクバクの会：・当事者と意思疎通が可能であり、介助やケア等に慣れた家族や日頃から関わる支援者の配置

- ・電源の確保、医療的ケアへの対応・体温調整への配慮
- ・オムツや衛生用品、薬、医療物品等の支給・当事者が寝かされっぱなしで退屈しないようにすること

大津市ろうあ者福祉協会：・地域への障害に対する理解を広める必要。

- ・障害の特性を正しく啓蒙する。
- ・手話対応のできる環境を整える。

② 一般の避難所での情報伝達手段として、どのような工夫が必要だと思いますか。

支える人の会：掲示と放送

視覚障害者協会：視覚障害があるので情報伝達は音声でお願いします

滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：・当事者も障害を知らせることが大切です。

- ・情報が入った時は、その都度大きな白板などに文字で明記してもらえば助かります。
- ・また当事者は障害があることが分かるバッチやゼッケンなどを身に付ける必要があると考えます。

バクバクの会：・当事者とのコミュニケーション方法を事前に確認し、家族や支援者に加え、当事者にも伝える。

大津市ろうあ者福祉協会：・音声情報をすべて、目でわかるようにしてほしい。

- ・紙の掲示板やメールの活用。
- ・特に、食料品や水の配布の場所、時間などはきちんと提供してほしい
- ・テレビは、常に字幕放送を表示する。

6 福祉避難所について

① 一般の避難所では生活することが困難な要配慮者のために特別な配慮が避難所である「福祉避難所」には、どのような資材・機材を備えておく必要があると思いますか。

支える人の会：医療ケアに対応するもの、電源

視覚障害者協会：・段差をなくすためのスロープ、手すり、・点字ブロックなど

滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：・中途失聴難聴者が、福祉避難所を利用できるかはわかりませんが、きこえない人には目で確認できる情報提示が必要です。

- ・白板ボードや筆談用具もそろえてほしい。
- ・簡易ベッドや、正座ができない人の椅子なども必要です。

バクバクの会：・発電機、蓄電器等、電源の確保に必要な機材

- ・ベッド・オムツや衛生用品（消毒等）
- ・冷暖房設備、毛布やカイロ等身体を温める資材、身体を冷やすアイシングの資材

大津市ろうあ者福祉協会：・停電対策の自家発電機の用意。

- ・アイトラゴン4の設備（字幕や手話放送ができる機器）
- ・多様なトイレ
- ・ベッドの配備
- ・福祉避難所を目印にする昇り旗の設置

② 福祉避難所にはどのような人材が必要だと思いますか。

- 支える人の会：介護士、看護師
- 視覚障害者協会：移動支援、代読、代筆、情報説明などのガイドヘルパー
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：
 - ・介護士
 - ・要約筆記者
 - ・手話通訳者
- バクバクの会：
 - ・障害者への理解がある人
 - ・医療的ケアに対応できる人(医療職・非医療職に関わらず)
- 大津市ろうあ者福祉協会：
 - ・手話通訳者、要約筆記者
 - ・カウンセラー
 - ・介護支援者
 - ・ボランティアコーディネーター
 - ・動ける団体役員(条件付き*被災地の少ない役員)

③ 福祉避難所で生活する際に、どのような配慮が必要だと思いますか。

- 支える人の会：障がい特性による配慮
- 視覚障害者協会：食事について、周りに迷惑がかからないようにこぼれない、汚さないような食事、食べ物に配慮してほしい
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：障害に適した対応処置をお願いします。
- バクバクの会：
 - ・当事者との意思疎通
 - ・電源の確保、医療的ケアへの対応
 - ・体温調整への配慮
 - ・オムツや衛生用品、薬、医療物品等の支給
 - ・当事者が寝かされっぱなしで退屈しないようにすること
- 大津市ろうあ者福祉協会：
 - ・障害の特性を理解する。
 - ・カウンセラーの設置
 - ・一般市民の理解
 - ・近所の民生委員に訪問してほしい。

7 障害当事者団体等の役割について

① 貴団体としては、災害時にどのような活動を行うことが可能だと思いますか。

- 支える人の会：連絡を取り合い、状況を把握する。
- 視覚障害者協会：視覚障害者団体としては難しい
- 滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：
 - ・きこえの不自由な協会員や会員外のきこえない人達の情報確保。
 - ・ホワイトボードなどを持参して筆談などのコミュニケーション確保に努める。
 - ・補聴器電池の供出(協会は補聴器電池を常備しています。)
- バクバクの会：
 - ・会員への安否確認や必要な物資の提供

大津市ろうあ者福祉協会：・安否確認(名簿の提供をお願いしたい。)

・被災があればボランティア派遣、コーディネート

・ろうあ相談員の派遣、配置

8、「災害時に要援護者の避難施設として障害福祉サービス事業所等を使用することに関する協定」により特別に配慮を要する障害者の方に災害時避難に福祉事業所が提供されることを知っていますか？

(大津市とおおつ障害者の生活と労働協議会との「災害時に要援護者の避難施設として障害福祉サービス事業所等を使用することに関する協定」。)

支える人の会：周知できていないが、必然的に事業所に頼ることが予想される。

視覚障害者協会：知らなかった

滋賀県中途失聴難聴者協会大津支部：

・災害時に要援護者の避難施設として福祉サービス事務所などを利用する協定は知りませんでした。障害者福祉サービス事務所等は、市内何か所、どこにあるのでしょうか。

バクバクの会：知っている

大津市ろうあ者福祉協会：・知らないと答えた役員が多い。

ご協力ありがとうございました